

第1号様式（第3条関係）その1

産業廃棄物収集運搬業実績報告書（令和3年度）

（特別管理産業廃棄物を除く）

年 月 日

東京都知事 殿

【報告者】
住 所 東京都足立区西新井4-31-5
株式会社エコ・クリーン
氏 名 代表取締役 霜鳥純昭

（法人にあつては名称及び代表者の氏名）
電話番号 03-5879-2934

運搬実績		左記①～③のいずれかの実績		(法人にあっては名称及び代表者の氏名) 電話番号 03-5879-2934	
① 東京都内(八王子市除く) ⇒ 東京都内(八王子市除く) ② 東京都内(八王子市除く) ⇒ 他道府県又は八王子市 ③ 他道府県又は八王子市 ⇒ 東京都内(八王子市除く)	あり	なし	許可番号	13 — 00 —	179632
			担当者電話番号	080-6610-8539	
	担当者氏名		霜鳥純昭		

産業廃棄物の収集運搬受託量 ※自社運搬(排出者と運搬受託者が自社の場合)は、集計から除いてください。

コード	種 類	数量 【 単位：トン(t)/年 】						コード	種 類	数量 【 単位：トン(t)/年 】					
		百 万	十 万	千	百	十	一 小 数 点			百 万	十 万	千	百	十 一 小 数 点	少数点 以下6桁
0100	燃え殻						●	1300	紙くず			2	6	5	4
0200	汚泥						●	1400	木くず			2	8	4	3
0300	廃油						●	1500	繊維くず			1	8	9	●
0400	廃酸						●	1600	動植物性残さ						●
0500	廃アルカリ						●	1700	動物系固形不要物						●
0600	廃プラスチック類			2	6	5	4	●	1800	動物のふん尿					●
0700	ゴムくず						●	1900	動物の死体						●
0800	金属くず			2	0	8	5	●	2000	産業廃棄物を処分するために処理したもの (例 焼却灰の溶融固化物等)					●
0900	ガラス・コンクリート・陶磁器くず			2	2	7	5	●	5000	石綿含有産業廃棄物					●
1000	鉱さい						●	6100	水銀含有ばいじん等						●
1100	がれき類（建設廃材のコンクリートを含む）			6	2	5	6	●	6200	水銀使用製品産業廃棄物					●
1200	ばいじん						●	7000	廃家電製品						●
合 計												1	8	9	5

注1： がれき類などに該当するものであっても、石綿を含有する場合は「5000 石綿含有産業廃棄物」に分類してください。（0100～2000のコードに計上しないでください。）
注2： 金属くず、廃プラスチック類、汚泥などに該当するものであっても、「水銀使用製品産業廃棄物」又は「水銀含有ばいじん等」とマニフェストに記載されている場合は、「6100 水銀含有ばいじん等」、「6200 水銀使用製品産業廃棄物」に分類してください。（0100～2000のコードに計上しないでください。）
注3： 廃プラスチック類、金属くず、ガラス・コンクリート・陶磁器くずなどに該当するものであっても、廃家電製品の場合は「7000 廃家電製品」に分類してください。（0100～2000のコードに計上しないでください。）
注4： 「m」「kg」は、「t」に換算し記入してください。

事業名	株式会社エロ・クリーン	13	00	—	179632
-----	-------------	----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	廃プラスチック類
コード	0600

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

[illegible]

※注1：都内（八王子市を除く）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2：収集・運搬受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分（八王子市分を除く）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。

※注3：自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

【確認欄】 東京都へ申請している車両について	<table border="1"> <tr> <td>車両の総台数</td><td>12</td><td>台</td> </tr> </table>	車両の総台数	12	台	<table border="1"> <tr> <td>車両の最大積載量の総和</td><td>46</td><td>t</td> </tr> </table>	車両の最大積載量の総和	46	t	<table> <tr> <td data-bbox="1431 1532 1632 1538">【記載例】</td><td data-bbox="1632 1532 2110 1538">2 tトラック5台、5 tトラック2台、農耕車（2 t用）2台の場合</td></tr> <tr> <td data-bbox="1431 1538 1632 1546"> <table border="1"> <tr> <td>車両の総台数</td><td>9</td><td>台</td> </tr> </table> </td><td data-bbox="1632 1538 2110 1546"> <table border="1"> <tr> <td>車両の最大積載量の総和</td><td>24</td><td>t</td> </tr> </table> </td></tr> </table>	【記載例】	2 tトラック5台、5 tトラック2台、農耕車（2 t用）2台の場合	<table border="1"> <tr> <td>車両の総台数</td><td>9</td><td>台</td> </tr> </table>	車両の総台数	9	台	<table border="1"> <tr> <td>車両の最大積載量の総和</td><td>24</td><td>t</td> </tr> </table>	車両の最大積載量の総和	24	t
車両の総台数	12	台																	
車両の最大積載量の総和	46	t																	
【記載例】	2 tトラック5台、5 tトラック2台、農耕車（2 t用）2台の場合																		
<table border="1"> <tr> <td>車両の総台数</td><td>9</td><td>台</td> </tr> </table>	車両の総台数	9	台	<table border="1"> <tr> <td>車両の最大積載量の総和</td><td>24</td><td>t</td> </tr> </table>	車両の最大積載量の総和	24	t												
車両の総台数	9	台																	
車両の最大積載量の総和	24	t																	

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

運搬量合計 [A]+[B]						
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算						
百 万	十 万	万	千	百	十	一
						小数点 以下6桁

※注1：都内（八王子市を除く）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2: 郵便集荷量の発生場所内訳及び運搬場所内訳は、東京都分(八王子市分を除く)と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。なお、(八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県)の運搬実績は報告対象外です。

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事 業 者 名	株式会社エコ・クリーン	13 -	00	-	179632
---------	-------------	------	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	ガラス・コンクリート・陶磁器くず
コード	0900

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

[illegible]

※注1：都内（八王子市を除く）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注：収集運搬母牛群の母牛性別別内訳及び運搬別内訳は、東京部分（八王子市分を除く）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について				【記載例】 2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車（2 t用）2台の場合							
車両の総台数	12	台	車両の最大積載量の総和	46	t	車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24	t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業者名	株式会社エコ・クリーン	13	00	一	179632
------	-------------	----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	がれき類
コード*	1100

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

[illegible]

※注1：都内（八王子市を除く）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2: 収集集運受託量の発生地別内訳及び運搬先別内訳は、東京都分(八王子市分を除く)と八王子市分(八王子市⇒八王子市以外の東京都内)をそれぞれ分けて記入してください。 なお、(八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県)の運搬実績は報告対象外です。

※注3: 自社の替替保篤施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について

車両の総台数	12	台
車両の最大積載量の総和	46	t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬処分容量を比較し、「t」で計算されているか確認してください。

【記載例】 2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車（2 t用）2台の場合

車両の総台数	9	台
車両の最大積載量の総和	24	t

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

車両の最大積載量の総和	24	t
-------------	----	---

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事業名	株式会社エコ・クリーン	13	00	—	179632
-----	-------------	----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	木くず ^{a)}
コード ^{b)}	1400

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

[illegible]

※注1：都内（八王子市を除く）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注2： 両端調整後残高の発生を別段記載及び繰越金別内記は、東京類分（八王子市分を除く）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。

※注3: 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再生・売却」欄に記入してください。(マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。)

【確認欄】 東京都へ申請している車両について <table border="1" data-bbox="322 1528 604 1533"> <tr> <td>車両の総台数</td> <td>12</td> <td>台</td> </tr> </table>	車両の総台数	12	台	<table border="1" data-bbox="725 1528 1209 1533"> <tr> <td>車両の最大積載量の総和</td> <td>46</td> <td>t</td> </tr> </table>	車両の最大積載量の総和	46	t	【記載例】 2 tトラック5台、5 tトラック2台、廃芥車（2 t用）2台の場合 <table border="1" data-bbox="1330 1528 2094 1533"> <tr> <td>車両の総台数</td><td>9</td><td>台</td><td>車両の最大積載量の総和</td><td>24</td><td>t</td></tr> </table>	車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24	t
車両の総台数	12	台												
車両の最大積載量の総和	46	t												
車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24	t									

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。

事 業 者 名	株式会社エコ・クリーン	13	00	—	179632
---------	-------------	----	----	---	--------

この様式（第1号様式 その2）は、必要枚数をコピーし廃棄物の種類ごとに作成してください。
収集運搬を自社で行わず他の業者に再委託したものは、集計から除いてください。

産業廃棄物の種類	繊維くず
コード	1500

⇒「廃棄物の種類」は第1号様式（その1）の種類のうちから1つを記入してください。

⇒「コード」は第1号様式（その1）の0100から6200までのうちから1つを記入してください。

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

【A】収集運搬受託量 (委託を受け運搬したもの。自社運搬分は下方【B】に記入) ※注1	発生地別の 収集運搬 受 託 量
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁
1 8 9 6	1 8 9 6

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

(運搬先別内訳 ※注2)

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの 具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など) (破 碎) (圧 縮 梱 包) ()	最終処分業者へ運搬したもの 運搬先に○を記入	代替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。			
	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁
東京都 (八王子 市を除く) ※注2	1 8 9 6			
八王子市 ※注2				
埼玉県				
千葉県				
神奈川県				
茨城県				
栃木県				
群馬県				
合計	1 8 9 6			

(収集運搬受託量の発生地別内訳 ※注2)

【B】自社運搬 ※注1 (排出者と運搬者が自社)	発生地別の 収集運搬 受 託 量
【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は「t」に換算
百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁
1 8 9 6	1 8 9 6

第1号様式(その1)の
該当種類の数量欄へ
転記して下さい

(運搬先別内訳 ※注2)

運搬先の 都道府県 又は 八王子市	中間処理業者へ運搬したもの 具体的な処分方法を記入(例：脱水、焼却、破碎など) (破 碎) (圧 縮 梱 包) ()	最終処分業者へ運搬したもの 運搬先に○を記入	代替保管施設へ 運搬したもの	再生・売却 ※注3
	【単位：トン(t)/年】 「m」「kg」は、「t」に換算し数字を記入してください。			
	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁	百 十 万 万 千 百 十 一 少数点 以下6桁
東京都 (八王子 市を除く) ※注2	1 8 9 6			
八王子市 ※注2				
埼玉県				
千葉県				
神奈川県				
茨城県				
栃木県				
群馬県				
合計	1 8 9 6			

※注1：都内（八王子市を除く）で積み込み又は積み卸したものが対象です。

※注：「市町村」が「市」を指す場合は、市域内及び市域外に別記してください。

※注：「市町村」が「市」を指す場合は、市域内及び市域外に別記してください。東京都区部（八王子市分を除く）と八王子市分（八王子市⇒八王子市以外の東京都内）をそれぞれ分けて記入してください。なお、（八王子市・他道府県⇒八王子市・他道府県）の運搬実績は報告対象外です。

※注3 自社の積替保管施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り量や、売却先へ直接運搬した場合、「再牛・売却」欄に記入してください。（マニフェストの交付がないものは、集計から除いてください。）

※3: 目付の積荷係数施設で有価物抜き取りを行った場合の抜き取り重や、発型元へ直接搬送した場合、「再生・発型」欄に記入してください。(「マージン」の交付がないものは、条約から除いてください。)

【確認欄】東京都へ申請している車両について				【記載例】2 tトラック5台、5 tトラック2台、塵芥車(2 t用)2台の場合							
車両の総台数	12	台	車両の最大積載量の総和	46	t	車両の総台数	9	台	車両の最大積載量の総和	24	t

注: 車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬量重量を比較し、「t」で計算されているか確認してください。

注：車両の最大積載量の総和及び登録車両台数と収集運搬受託量を比較し「t」で計算されているか確認してください。